

200/300シリーズマネージドスイッチのインターフェイスとVLAN割り当ての設定

目的

スイッチ上の各インターフェイスは、いくつかのモードのいずれかに分類できます。これらの各種モードはVLAN内で異なる目的に使用され、[Interface Settings] ページで設定できます。モードに設定したインターフェイスは、VLANのメンバとして追加できます。この記事では、200/300シリーズマネージドスイッチのインターフェイスのVLAN機能を管理する方法について説明します。

該当するデバイス

- SF/SG 200およびSF/SG 300シリーズ

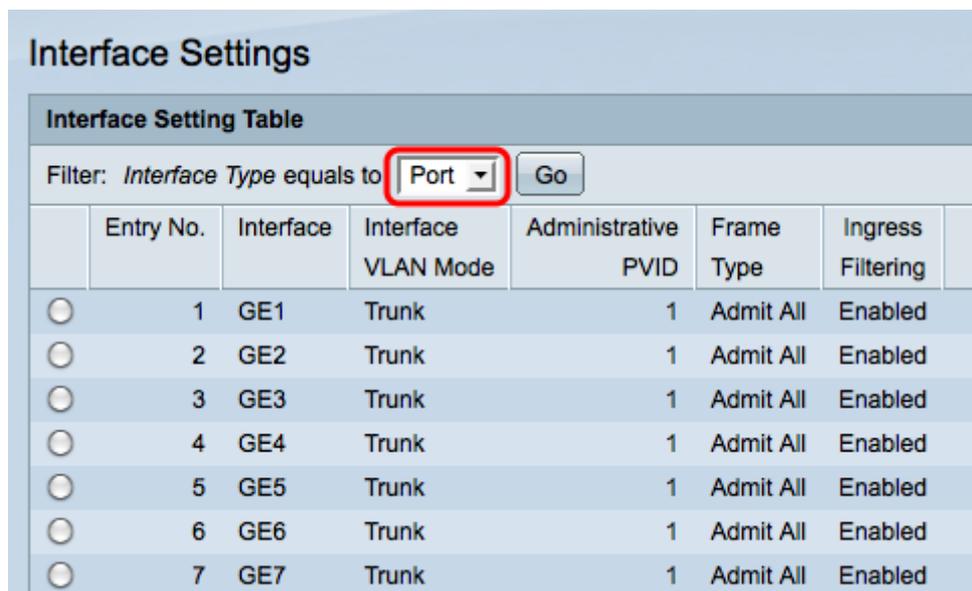
[Software Version]

- 1.3.0.62

ポートVLANの設定

インターフェイス設定の構成

ステップ 1 : Web設定ユーティリティにログインし、[VLAN Management] > [Interface Settings]を選択します。[Interface Settings] ページが開きます。



Interface Settings							
Interface Setting Table							
Filter: <i>Interface Type</i> equals to Port <input type="button" value="Go"/>							
	Entry No.	Interface	Interface VLAN Mode	Administrative PVID	Frame Type	Ingress Filtering	
<input type="radio"/>	1	GE1	Trunk	1	Admit All	Enabled	
<input type="radio"/>	2	GE2	Trunk	1	Admit All	Enabled	
<input type="radio"/>	3	GE3	Trunk	1	Admit All	Enabled	
<input type="radio"/>	4	GE4	Trunk	1	Admit All	Enabled	
<input type="radio"/>	5	GE5	Trunk	1	Admit All	Enabled	
<input type="radio"/>	6	GE6	Trunk	1	Admit All	Enabled	
<input type="radio"/>	7	GE7	Trunk	1	Admit All	Enabled	

ステップ 2 : [Interface Type] ドロップダウンリストからインターフェイスを選択し、[Go] をクリックします。

- Port : スイッチ上の単一の物理ポート。
- LAG : リンクの信頼性を高めるために使用されるポートのグループ。

<input type="radio"/>	14	GE14	Trunk	1	Admit All	Enabled
<input type="radio"/>	15	GE15	Trunk	1	Admit All	Enabled
<input type="radio"/>	16	GE16	Trunk	1	Admit All	Enabled
<input type="radio"/>	17	GE17	Trunk	1	Admit All	Enabled
<input checked="" type="radio"/>	18	GE18	Trunk	1	Admit All	Enabled
<input type="radio"/>	19	GE19	Trunk	1	Admit All	Enabled
<input type="radio"/>	20	GE20	Trunk	1	Admit All	Enabled

Copy Settings... Edit...

ステップ 3 : 目的のポート/LAGのチェックボックスをオンにして、[Edit] をクリックします。
[Edit Interface Setting] ウィンドウが表示されます。

Interface: Port GE18 LAG 1

Interface VLAN Mode: General
 Access
 Trunk
 Customer (The switch will be in Q-in-Q mode when it has one or more customer ports.)

Administrative PVID: (Range: 1 - 4095, Default: 1)

Frame Type: Admit All
 Admit Tagged Only
 Admit Untagged Only

Ingress Filtering: Enable

Apply Close

ステップ 4 : [Interface VLAN Mode] フィールドで、目的のVLANモードに対応するオプションボタンをクリックします。

- [General] : 複数のVLANのタグ付きメンバーまたはタグなしメンバーを指定できます。
- アクセス : 1つのVLANのタグなしメンバー。これを選択する場合は、[ステップ8](#)に進みます。
- トランク : 複数のVLANのタグ付きメンバーにすることができます。最大1つのVLANでタグなしメンバーとすることができます。
- Customer : インターフェイスをQinQモードにします。このモードでは、独自のVLAN配置を使用できます。[Customer]を選択した場合は、[ステップ8](#)に進みます。

ステップ 5 : [Administrative PVID] フィールドに管理VLANを入力します。これは、タグなしフレームが分類されるVLANです。

注 : ステップ6と7は、インターフェイスVLANモードが[General]の場合にのみ使用できます。

手順 6 : [Frame Type] フィールドで、着信フレームの処理方法を定義するオプションボタンをクリックします。

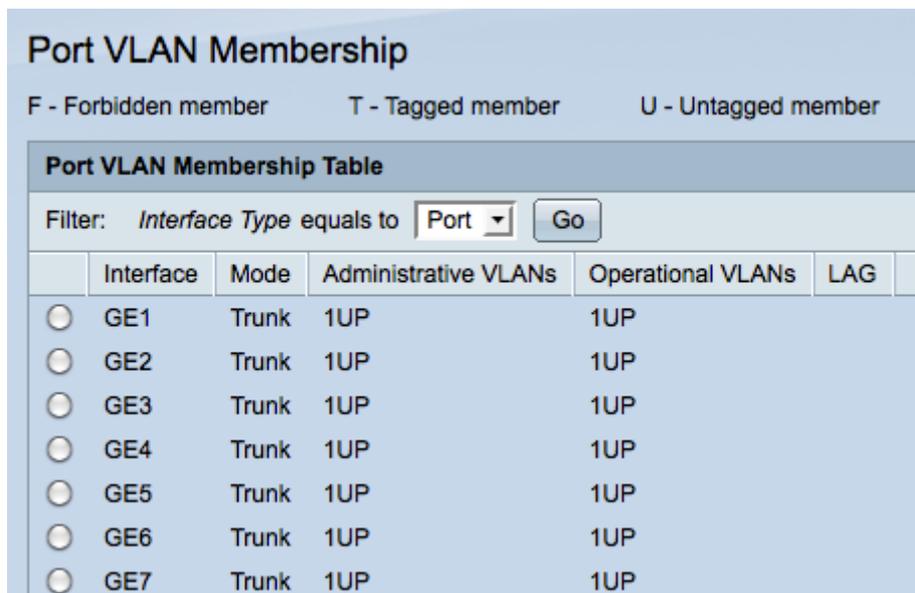
- Admit All : すべてのフレームがスイッチによって処理されます。
- Admit Tagged Only : タグ付きフレームだけがスイッチで処理され、他のすべてのフレームは廃棄されます。
- Admit Untagged Only : タグなしフレームだけがスイッチで処理され、他のすべてのフレームは廃棄されます。

手順 7 : [Ingress Filtering] チェックボックスをオンにして、インターフェイスがメンバになっていないVLANに属するインターフェイスに着信するすべてのフレームを廃棄します。

ステップ 8 : [Apply] をクリックして変更を保存し、[Close] をクリックして[Edit Interface Setting] ウィンドウを終了します。

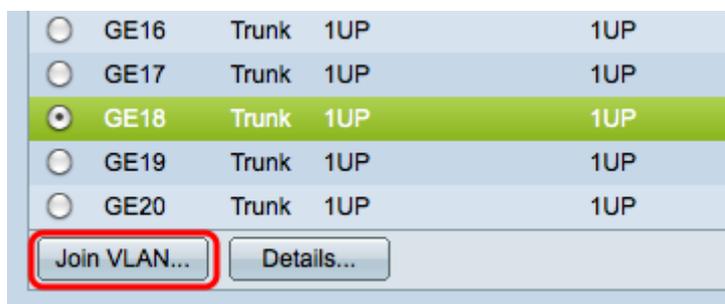
ポートへのVLANの割り当て

ステップ 1 : Web設定ユーティリティにログインし、[VLAN Management] > [Port VLAN Membership]を選択します。[Port VLAN Membership] ページが開きます。



	Interface	Mode	Administrative VLANs	Operational VLANs	LAG
<input type="radio"/>	GE1	Trunk	1UP	1UP	
<input type="radio"/>	GE2	Trunk	1UP	1UP	
<input type="radio"/>	GE3	Trunk	1UP	1UP	
<input type="radio"/>	GE4	Trunk	1UP	1UP	
<input type="radio"/>	GE5	Trunk	1UP	1UP	
<input type="radio"/>	GE6	Trunk	1UP	1UP	
<input type="radio"/>	GE7	Trunk	1UP	1UP	

ステップ 2 : VLANに追加するポートのオプションボタンをクリックします。



<input type="radio"/>	GE16	Trunk	1UP	1UP	
<input type="radio"/>	GE17	Trunk	1UP	1UP	
<input checked="" type="radio"/>	GE18	Trunk	1UP	1UP	
<input type="radio"/>	GE19	Trunk	1UP	1UP	
<input type="radio"/>	GE20	Trunk	1UP	1UP	

ステップ 3 : Join VLANをクリックします。[Join VLAN] ウィンドウが表示されます。

Interface: Port GE18 LAG 1

Mode: Trunk

Select VLAN:

2
3

1UP

F - Forbidden member, T - Tagged member, U - Untagged member, P - PVID, M - Multicast TV VLAN

Tagging:

Forbidden
 Excluded
 Tagged
 Untagged
 Multicast TV VLAN
 PVID

Apply Close

ステップ 4 : [Select VLAN] リストで、使用可能なVLANのいずれかを選択します。

ステップ 5 : **Add**ボタンをクリックして、選択したVLANをポートに追加します。

手順 6 : [Tagging] フィールドで、次のいずれかを選択します。

- Forbidden : インターフェイスはVLANに参加できません。インターフェイスは内部VLAN 4095に割り当てられます。
- Excluded : インターフェイスはVLANのメンバーではありませんが、GVRPを介して参加できます。
- Tagged : インターフェイスは、タグ付きメンバとしてVLANに参加します。タグ付けされたメンバーは、送信する各フレームにVLANタグを付けます。
- Untagged : インターフェイスはタグなしメンバとしてVLANに参加します。タグ付けされていないメンバーは、フレームにVLANタグを付けません。
- マルチキャストTV VLAN : このインターフェイスは、マルチキャストIPを使用してデジタルテレビ用に使用されます。
- PVID : インターフェイスのPVIDがVLANのVIDになります。

注 : すべてのインターフェイスモードですべてのタグ付けオプションを使用できるわけではありません。

手順 7 : **Apply**をクリックして設定を保存します。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。